

福岡正信 自然農園

農園 だより 2023 夏号

瀬戸内海に面し、里山が広がる温暖な愛媛県伊予市。
自然農法の提唱者・福岡正信から三世代にわたり
「自然農法」で、小さな農園を営んでいます。
みなさまに、作物のこと、日々のこと、
なりわいへの想いをお届けします。



青々とした木々や葉が美しい、生命力を感じる風景



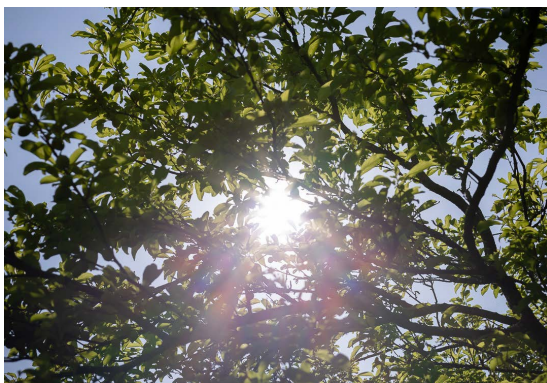
あまもよ
雨催い、
葉緑色にいろづく頃
田んぼに植えられた苗が
恵の雨を受けて佇む
風景が見られます。

6月中頃には、みんなで協力し合い
田植え作業を終えます。
木に成る柑橘の収穫とは違い、
腰をかがめての手作業は
なかなか大変です。

畑を上手に有効活用できるようお米の反対の季節は二毛作で、はだか麦を栽培しています。5月頃にはだか麦の収穫をすると、田植えに向けて畑に残った藁処理から作業が始まります。半分はスイカやかぼちゃのお布団用に保管。

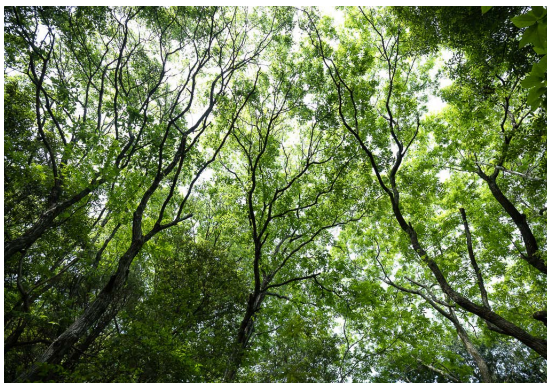
もう半分は切って刻んで土と混ぜこみ耕し、田んぼ全面に水を敷いて代掻き作業をします。半月ほどかけて丁寧に作業したのち、キレイになった水面に心を込めて苗を植えて行きます。

「どうか、たわわに実った
美味しいお米が出来ますように」と。



昨今は小麦製品の普及や食習慣の変化に伴い、米離れが進み農家にとっては心苦しい想いもあります。

日々、百姓として「農」と向き合い、動植物やそれを取り巻く環境との関わり合いを大切にしています。



古くから日本の主食として在る、お米という文化にも向き合い私たちが考える、日々出来る事を実践していく想いでお米作りを続けています。

安心して食べられる美味しいお米が皆様のもとに届くことを願うばかりです。



そして農園の樹々たちは青々と葉を茂り元気に成長しています。そんな姿を見守っていると、こちらまで元気をもらえるようで自然との対話を楽しんでいます。